

2024年 春季参加報告書

参加プログラム：高麗大学校

参加時の学年：4年、学部：人文、学科：日本・東アジア文化

今回私がこの留学プログラムに参加したのは、将来の仕事を韓国でしたいと
思っていたからです。そのため、日常生活を問題なく送ることができるようになる
ことが最終的な目的でした。また、大学では1年生の時から韓国語の授業を
受けていましたがスピーキングの能力に限界を感じていたため、実際に現地
に行くことでスピーキング能力を上達させることも目的でした。

留學生活初日は入国審査に思いのほか時間がかかりぐったりしたままホテル
に向かうことになりましたが、現地ガイドの方がリムジンバスという鉄道より楽に
移動できる方法を提案してくれたおかげで何とかホテルにたどり着くことが
できました。学校生活では、武蔵大学から一緒に来た他の子達とは違うクラスにな
ってしまい不安でしたが、すぐに友達もできました。韓国の大学には、生徒が大
学のスタジャンやダウンを着るとい文化があり、韓国ドラマをみて懂れていたというもあり、高麗大学の名前が入ったスタジャンを購入し
ました。クラスの半分以上の人達も同じように購入していたので何となく団結感を実感しました。文化体験は留學期間中に2回あり、ど
ちらも事前の申請が必要なのですが、その申請のためのメールがうまく届いていなかったというトラブルがあって、そのことに関して自分たちで
相談しに行って参加させてもらえるように交渉しました。材料の関係などで2回目の文化体験しか参加できなかったのは少し残念では
したが、自分たちで交渉する経験をする事ができたのは、順風満帆な留學生活では経験できなかったことなのでいい経験になったと思いま
す。

またトウミ交流についてはそのような活動があることをほとんどの生徒が知らず、武蔵大学から来た4人だけがトウミ交流会に参加
できたので、武蔵大学に入ってよかったと思いました。トウミ交流では、私は高麗大学の1年生の学生とペアになりました。お互いに韓国と日
本のおすすめの食べ物やお店を紹介したり、好きなドラマや俳優の話をして仲良くなる事ができてとてもいい経験になりました。その
ペアの学生とはカフェに行ったり、夜ご飯を一緒に食べたり、プリクラのようなものを一緒に撮って楽しく遊びました。インスタも交換して、お
互い日本や韓国に来る機会があったらまた会おうねという約束もするほど仲良くなれました。実際に韓国の学生と話すことで、会話でよく
使う表現や単語が身につくので一気に韓国語の実力が上がったのを感じました。また、トウミ以外でもたまたま席が隣になって仲良くな
った日本人のクラスメイトがいたのですが、その友達とは普段の会話も韓国語で話そうということになって授業以外で勉強したり、遊びに行
ったときもすべて韓国語で会話をしました。日本人が多い環境なので、韓国にいるのに韓国語を使う時間が少なくなってしまうなか、その友
達のおかげで韓国語をたくさん話す事ができました。

授業では、せっきくの留學なので積極的に発言するようにしました。授業は全て韓国語で行われるので、事前に教科書の分からない
単語は予習として調べて参加しました。そのおかげで文法などに集中して授業に参加することが
できました。分からない所も積極的に質問するようにしていましたが、その質問も韓国語で質問する
ので自分の伝えたいことを正確に伝えるのに苦労しましたが、その分成長できたと感じています。
遊びに出かけたかった時も我慢して勉強したおかげで、優秀賞をいただくことができ、さらに修了式
では答辞を読ませてもらうことにもなりました。答辞の原稿を作るのにも苦労しましたが、担任の先
生に添削するから遠慮なく言ってねと助けてくださったのがとても嬉しかったです。

答辞をしたこともそうですが、授業で発言したり、街中で自分から店員さんに声をかけたりなど、
留學をとおして自分が積極的な性格に成長したなと感じました。韓国語の能力の成長はもちろん
ですが、自分の内面も成長することができたので留學できたことには感謝の気持ちでいっぱい
です。今後も韓国語の実力が戻ってしまわないように継続して勉強を続けて、将来は韓国語を活かした
仕事や韓国で仕事ができるように努力していきたいと思います。

